**みんなで知ろう！考えよう！行動しよう！Let'ｓ！男女共同参画**

問い合わせ　まちづくり推進課男女共同参画推進室　電話23-2103

**Vol.13　年末の家庭における男女共同参画の実現**

年末は、多くの人が多忙な時期を迎えます。

年末の掃除や料理、家族イベントの準備などは「女性や母親がするべきだ」という固定概念で女性に偏りがちな作業ですが、年末の忙しい時期にこそ、家庭での家事の分担が重要になります。

家庭での家事の分担は、女性や母親の負担を減らすだけでなく、家族全体で家事をすることで、家族の一体感も生みだすことができます。

家族で平等に家事の役割を分担して協力することで、年末の慌ただしさを乗り切るだけでなく、家族みんなが充実した時間を過ごすため、新年に向け私たち一人一人が家庭でどのように過ごすことができるかを考え、行動に移していきましょう。

**オオサキワンダーミュージアム　人と大自然の青空博物館**

**VOL.52　おおさき食の市をJR古川駅で開催しました!**

問い合わせ　農政企画課世界農業遺産未来戦略室　電話23-2281

市では、世界農業遺産「大崎耕土」で生産・製造された農産物や農産加工品などのPRや販売を通じて、世界農業遺産「大崎耕土」の普及啓発・地産地消の推進を目指しています。その取り組みとして、農業団体などの協力の下、市役所本庁舎1階市民交流エリア屋内広場(パタ崎さん)で、毎週金曜日（11時～14時）に開催している「おおさきGIAHS食の市inパタ崎さん家」で野菜や農産加工品などを販売しています。

また、初めての試みとして10月20日に、JR古川駅で、「大崎耕土」の魅力発信や駅周辺の活性化のため、「おおさきGIAHS食の市in古川駅」を開催しました。

来場者は、農産物や農産加工品、新米などを手に取って、大崎耕土が育んできた食文化を感じながら、買い物を楽しんでいました。

**市長コラム　天地人　　鳴子の米プロジェクト**

去る11月8日、「」世界かんがい施設遺産認定登録記念シンポジウムが、県内外から約200人の参加者が集い、盛大に開催されました。

その席で新たな朗報が紹介されました。鳴子温泉地域南原地区などで活動されている「NPO法人鳴子の米プロジェクト」が第10 回オリザ賞大賞を受賞されたことが報告され、会場は二重の喜びに沸きました。

「オリザ」は稲の学名で、河北新報社が創刊100周年記念事業で「オリザの環わ」企画を特集し、JA宮城グループが賛同し、創設された顕彰事業がオリザ賞で、今回10回目を迎えました。

意欲的な稲作経営、技術改善に取り組み、農業振興・地域活性化に貢献された個人および団体を表彰する制度です。

受賞したNPO法人鳴子の米プロジェクトは、おいしい米作りには不適地といわれた中山間地で、寒さに強い新品種「ゆきむすび」の栽培とおいしい食べ方の研究、消費者との連携が評価されました。これまでも、農林水産大臣賞、総務大臣賞などに輝き、地域で支える農業の先進事例でもあります。

この取り組みは、NHKドラマ「お米のなみだ」として放送されました。

また、小説「雪まんま」としても出版され、全国に支援の輪が広がりました。

この度の認定登録、受賞を契機に、大崎の米作り、農業、地域づくりを進化させ、全国に、世界に発信してまいりましょう。